

## 事業実績書

団体名	陶連合自治会
-----	--------

## 1 地域づくりの活動方針(テーマ)

第2次陶地区地域づくり計画・福祉活動計画に基づき、陶地区の「話し合いの文化」を活かしながら、住民の衆知を結集して、全住民が目指す将来像「みんなでつくる住んで誇りに思う陶」を見据え、「美しい心ふれ合う陶」の実現に向けて取り組んでいきます。

## 2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	人材の発掘と育成によるまちづくり		
	事業名	人材発掘、人材育成	決算額	70,089円
②	視点	弱者にも理解あるまちづくり		
	事業名	地域福祉講座の開催	決算額	26,360円
③	視点	美しい安全なまちづくり		
	事業名	陶クリーン作戦	決算額	306,130円
④	視点	災害に強いまちづくり		
	事業名	自主防災活動の推進	決算額	67,601円
⑤	視点	ふるさとの文化でまちづくり		
	事業名	地元文化育成	決算額	142,025円

## 3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① 活発な意見が出て、地域づくりに協力が得られるようになりました。次年度も引き続き「高齢者の部」のセミナーを開催します。	△
② 障がい者に対する意識啓発が出来ました。引き続き講座や研修会を開催します。	○
③ 事前作業(除草剤散布、防草シート設置で作業量が減少)は効果がありました。地区民のふれあいの場として今後も継続していきます。	◎
④ 各自治会長も防災知識が薄かったが、今年度各集落に防犯員設置が決ったので、次年度は、自主防災組織を立ち上げる運びとなりました。	△
す。	△

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

## 4 総括

第2次地域づくり計画に沿って、ワンランク上を目指す将来像“みんなでつくる住んで誇りに思う陶”の実現に向けて、①事業目的の確認 ②事業の質を高める ③力を合わせて ④みんなに出番を ⑤楽しみながら等に留意して諸活動を展開しました。地域づくりの初年度ではあったが、各事業の項で示すような多様な事業を概ね展開することが出来ました。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	3,714,698円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 年間を通じて滞りなく事務局運営を行うことが出来ました。 (今後に向けて) より円滑な事務局運営を行うために、事務改善に努力します。

### (2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	70,089円
事業概要	(実施内容) 陶づくりセミナー「高齢者の部」を開催する。 (実施時期) 平成25年9月 (参加人数) 45人 (成果) 高齢者同士の仲間づくりができました。 (評価) 地域づくりに、高齢者の協力が得られるまでには、1回のセミナー開催では時間不足である。 (今後に向けて) 今年度は1回の開催に終わったので、次年度も引き続きセミナーを計画します。

事業名	広報活動の推進
事業費	680,660円
事業概要	(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布する。 ②携帯サイトの内容を充実し、定期的に更新。 (実施時期) ①、②共に、平成25年4月から平成26年3月まで (参加人数) ①120人 ②業者委託 (成果) ①地区内の各家庭への配布ほか、地区外にも発送しました。②は会員は現状維持 (評価) ①地区内情報が広報誌に纏められており、地区民に喜ばれている。山口県公民館報コンクールで優秀賞を受賞しました。 (今後に向けて) ①親しみのある内容に努めます。②会員の増加に努めます。

事業名	ふれあい行事の開催
事業費	336,739円
事業概要	(実施内容) ①実行委員会を結成し、「陶ふれあいまつり」を盛大に開催する。 ②ナンプナインへの協賛 (実施時期) ①、②平成25年11月 (参加人数) ①800人 ②地区内外142人参加 (成果) ①地区内の各種団体による実行委員会方式での開催の為、地区民が多く集い地区最大の行事が実現できました。他分野との合同イベント(炊き出し訓練)も出来ました。 (評価) ①地区民多数の参加があり、ふれあいつくりは十分に図られました。 ②は他地区民とのふれあい交流も実現しました。 (今後に向けて) ふれあいまつりの内容を一層充実させて、ふれあい推進活動を高めます。

事業名	活動グループの育成
事業費	99,988円
事業概要	(実施内容) 地区民を中心に活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊)を育成する。 (実施時期) ① ②周年 (参加人数) ①会員20人 ②隊員17人 (成果) ①、②ともに活動を通じて、ふれあいを深めることが出来ました。 (評価) ①菊や野菜づくりを習得し、次への意欲に繋げることが出来ました。 ②結成後日が浅いため実績は少ないが、積極的に奉仕の場を求めています。 (今後に向けて) ①グループの親睦を一層深めながら、地域づくり活動にも積極的に参加します。 ②隊員を増員し、地区団体の要望に応えられるよう組織を充実させます。

### (3) 地域福祉

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	26,360円
事業概要	(実施内容) 障がい者だけを雇用している企業の代表者を講師に招いて、講座を開催する。 (実施時期) 平成25年10月 (参加人数) 60人 (成果) 障がい者だけの事業所が取り組んでいる理念と仕事内容を知ることが出来ました。 (評価) 障がい福祉について深く学ぶことが出来ました。 (今後に向けて) 引き続き講座や研修会を開催し、あるべき地域福祉について学習します。

事業名	子育て支援の推進
事業費	80,000円
事業概要	(実施内容) ①放課後の学童保育と②未就園児子育ての両グループを支援する。 (実施時期) 平成25年5月、10月～12月、平成26年3月、②平成25年4月～平成26年3月 (参加人数) ①対象学童延べ25人、②対象親子延べ520人 (成果) ①7回で延べ25人の児童を保育しました。②13回の活動を実施しました。 (評価) ①保育希望日と人数の予測が困難で苦慮しています。②参加人数が増加し活動も活発です。 (今後に向けて) ①運営内容を再検討し、利用増加を図ります。②今後も支援を継続します。

事業名	三世代交流の推進
事業費	28,204円
事業概要	(実施内容) 複数の団体と協力して、交流イベント(昔の遊びや風習)を開催する。 (実施時期) 平成25年6月、平成26年1月 (参加人数) ①陶小ふれあい広場230人、②新春ふれあい広場40人 (成果) 小学校、PTA、子ども会、老人クラブ間の交流が深まりました。 (評価) ①参観日と併用実施したため、幅広い世代の多数の参加がありました。 (今後に向けて) ①今後も参観日に実施します。②天候に左右されない内容を検討します。

事業名	高齢者のサポート
事業費	34,228円
事業概要	(実施内容) 陶老人クラブ連合会に協賛して、西京大学(学習会)を開催する。 (実施時期) 25年8月 (参加人数) 60人 (成果) 講座で健康相談、血圧測定、検尿等を受け、参加者の健康状態の把握ができました。 (評価) 共同開催により、参加者が定着しました。 (今後に向けて) 今後も、老人クラブと共同開催を継続します。

### (4) 安心・安全

事業名	自主防災対策
事業費	67,601円
事業概要	(実施内容) ①「陶ふれあいまつり」時に、防災訓練の一環として、焚きだしの訓練をする。 ②自主防災会構成員である防災委員を単位自治会に設置を決定する。 (実施時期) ①平成25年11月 ②平成25年7、9、11月、26年1月 (参加人数) ①炊き出し訓練500人 ②組織づくり55人 (成果) ①500食の豚汁を、地区内外数の方に試食して貰いました。②自主防災組織案が整いました。 (評価) 炊き出しは、ふれあいまつり時に開催したので、大勢の地区民に防災意識が高まりました。 (今後に向けて) 各集落に防災員設置が決まり、組織案も出来たので、次年度早々には、自主防災組織を立ち上げます。

事業名	陶っこ見守り隊(子ども見守り活動)
事業費	29,000円
事業概要	(事業内容) 陶っこ協議会(青少協)を主体に、陶連合自治会の各種団体が協力して、巡回パトロールと立哨を実施する。 (実施時期) 通年(夏休みの8月を除く) (参加人数) 200人 (成果) 地区内の多くの団体の協力が得られました。 (評価) パトロールの実施で、下校時の防犯と交通の安全が確保されました。 (今後に向けて) 児童の安全を守る為、今後も活動を継続する予定です。

事業名	各種マナーアップの推進(マナーアップ)
事業費	77,250円
事業概要	(事業内容) ポイ捨て等、マナーアップ啓発のために、看板を作成して地区内要所に設置する。 (実施時期) 通年 (参加人数) 40人 (成果) 初めての活動であったが、少しは意識付け効果があったと思われます。 (評価) 地元の人には意識付けは出来たが、地区外者のポイ捨てが多く、これらの対策が必要です。 (今後に向けて) 地区外者への意識付けが必要であり、さらに工夫を重ね啓発運動を継続します。

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	18,000円
事業概要	(事業内容) 四季の交通安全期間中に啓発用の幟掲揚と、広報車による広報活動や立哨をして、交通安全の啓発を行う。 (実施時期) 4月、7月、9月、12～1月 (参加人数) 60人 (成果) 交通安全の意識が高まり交通安全が図られました。 (評価) 広報車によるアナウンス実施で、さらに安全啓発を充実させることが出来ました。 (今後に向けて) 巡回放送での啓発活動を充実させます。

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	60,000円
事業概要	(事業内容) 反射鏡の設置・修繕。 (実施時期) 平成26年2月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 新設(3件)と修復(1件)を実施し、見通しの悪いところを改善しました。 (評価) 改善により交通安全が維持されています。 (今後に向けて) 地区内の必要箇所を調査して、今後も道路環境の改善に努めます。

#### (5) 環境づくり

事業名	土木工事:単市土地改良(生活基盤の整備①)
事業費	2,660,000円
事業概要	(実施内容) 単市土地改良(農水路)の整備 (実施時期) 平成25年6月、平成26年1月、3月 (参加人数) 1件は地元民による工事で10人、他の3件は業者に委託 (成果) 流れが悪い農業用水路の整備が出来ました(4ヶ所)。 (評価) 用水の漏水を防ぎ、円滑に流れるようになりました。 (今後に向けて) まだ整備の希望が多いので、今後も農水路環境の改善に努めます。

事業名	土木工事:法定外公共物(生活基盤の整備②)
事業費	991,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物(里道舗装)の整備 (実施時期) 平成25年10月、平成26年3月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道の補修が出来ました(2ヶ所)。 (評価) 今まで通行上支障がありましたが、改善されて関係者に喜ばれています。 (今後に向けて) 生活道の整備希望が多いので、里道の舗装整備に努めます。

事業名	法定外公共物補修原材料(生活基盤の整備③)
事業費	49,875円
事業概要	(事業内容) 補修用の原材料を支給し、受益者による里道の小規模補修を行う。 (実施時期) 平成26年3月 (参加人数) 10人 (成果) 里道の補修が出来ました(1ヶ所)。 (評価) 通行に支障があった里道が改善されました。 (今後に向けて) 業者に委託出来ない小規模の整備に対しては、今後も対処します。

事業名	陶グリーン作戦(道路環境美化)
事業費	306,130円
事業概要	(事業内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化を実施する。 (実施時期) 6、7、2月(11月も予定したが雨天の為中止しました。) (参加人数) 430人 (成果) 小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加する陶の一大行事となりました。 (評価) 住民の参加意識も高く、環境美化が向上しました。 (今後に向けて) 運動会、ふれあいまつりと共に、陶地区民のふれ合いの場であり継続して行います。

#### (6) 地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	54,765円
事業概要	(実施内容) ①「陶の四季・懐かしの写真」募集と②キャラクター「すえっきい」を活用する。 (実施時期) ①随時募集(平成25年11月ふれあいまつりで展示)。②随時シールを配布 (参加人数) ① 7名(100点)の応募があり、②地区内外32名にシールを配布 (成果) ①懐かしの卒業写真(50点)の応募があった。②利用者が少なかった。 (評価) ①地区住民に好評であった。②まだ地区住民への浸透が足りません。 (今後に向けて) ①センター改築後は常設展示場を検討 ②今後の活用方法と増加を図ります。

事業名	陶ふるさと大学
事業費	84,678円
事業概要	(実施内容) 陶の歴史や文化を改めて学ぶ勉強会、所縁の地への視察研修を実施する。 (実施時期) 平成25年7月(歴史講座) 10月(視察研修) 12月(方言講座) (参加人数) 84名 (成果) 3回の講座で安定した参加者がありました。参加者は毎年継続して参加されています。 (評価) 方言講座は、昨年度から取り入れたが、内容が多面的で好評でした。 (今後に向けて) 講座内容や視察研修を充実させます。

事業名	地元文化育成
事業費	142,025円
事業概要	(実施内容) 地区内外の音楽愛好家が演奏する音楽祭を開催する。 (実施時期) 平成25年11月 (参加人数) 150名 (成果) 9組(32名)の出演がありました。 (評価) 都合により、今回は地区内の出演者が少なかったため、聴衆者も前年よりやや減少しました。 (今後に向けて) 地元民の出演比率を高め、演奏内容も再検討します。

事業名	文化財保護活動
事業費	167,403円
事業概要	(実施内容) ①陶窯跡周辺の清掃、整備 ②案内板の設置 (実施時期) ①平成25年10月 ②平成26年3月 (参加人数) ①28名 ②業者委託 (成果) 周辺の樹木伐採と案内板設置で、進入路や建屋周辺の整備が出来ました。 (評価) 整備を継続することで窯跡周辺の環境が保持されています。 (今後に向けて) 毎年の整備実施で窯跡作業は軽減できるので、他の文化財の整備も検討します。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	70,000円
事業概要	(実施内容) 潟上中学校地区コミュニティ・スクール活動を支援する。 (実施時期) 随時 (参加人数) 443人(潟上中学校区民) (成果) 講演会(4回)と潟上3地区交流事業(2回)が行なわれました。 (評価) 学校行事への地区民の参加、地区行事への中学生の参加共に多くなり、中学生は学校だけでなく、地域で育てる機会が増えました。 (今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を検討します。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。